

光市医師会報

平成17年2月号

No.370



光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

巻頭言

在宅医療—その光と影—

光武医院 光武達夫

ある朝、患者さんもまばらになってきた頃、とある病院の医療相談室から電話が入った。何かと思って出てみると、「先生はキセツの方を家で診てもらいますか」という。「キセツの患者？ですか」「キセツ」つて何だ、と思いながら話していくうちに思い出した、「キセツ」は「気切」だ、入院中で、気管切開をうけてチューブが入った方で昼間は酸素療法、夜間は人工呼吸器に接続してやすむ患者の方を在宅で診てもらえないかということだった。

気管切開といえば、私が病院勤務している頃は術後の疾のからむ患者に短期間のみ行っていたもので、ずーっとチューブをつけて、歩いたり、日常生活を営んでいるような方はあまり見かけなかった。医療も進んだものだ。やりましょう、ということで、この患者さんは、2年近く居た病院から自宅に帰ってきたが、同居していた子供さんに変化がきていた。電気代未納で電気がストップされていた。これでは在宅酸素法も人工呼吸器もできない、病院へ逆もどり。その後、行政の方にもお願いしたりして、なんとか紆余曲折はあったが現在は、在宅医療に漕ぎつけたケースである。

医療の進歩で、いろんな臓器に管（カテーテルやチューブ）を留置したまま退院、在宅医療となる方が増えてきた。私が経験した例でも、中心静脈栄養カテ、胃瘻管、経鼻胃管、バルーンカテ、硬膜外麻酔チューブなどまだまだある。これらの管は在宅患者さんの命の綱である。在宅医療はまさにこれらのカテーテルの類をいかにうまく管理、交換していくかにかかっている。在宅医療（往診、訪問診療）を手がけて久しい、開業以来だから20年以上やっている。入院していて「自宅に帰りたい」という思いは、本能的なもので誰もが願うことだと思う。自宅に帰られた患者さんは表情が生き生きしてくる。家族の方々に囲まれて、自分の家でゆっくりと自宅の庭を眺めたり、好きな食べ物も摂ることができる。精神的にも落ち着くことは言うまでもない。これは、在宅医療の良いところ、陽のあたる部分である。

それでは、在宅医療はいいことづくめ、なのかというところでもない。在宅の患者さんの介護、看護に当たる家族と回りの方々のエネルギーの消耗は並大抵のものではない。日ごろの家事に加えて、食事の世話、トイレや入浴の介助、体位の交換など、在宅介護では、介護が切れ目なく続く。全ての介護を続けていこうとすれば、大変な負担となり、身体疲労やストレスで、介護者が体調を崩しダウンするのをこれまで何回も見てきた。更に介護をしていると、さまざまな悩みや疑問、問題が生じてくるものである。これらの悩みを卒直に訴えてくれるケースはむしろいい方である、抱えこむと、在宅医療そのものがプツンといくケースが多い。これからは病院の在院日数の短縮化のため、医療費抑制のために在宅医療は増加の一途をたどると考えられるが、支える人が倒れないような施策が望まれる。

「在宅で 見ておりし老翁ついに逝く 御臨床の声 不覚にも振るえん」

先月の医師会長

| | | |
|----------|---------------------------|-------------|
| 1月11日(火) | 平生看護学校講義 1月度理事会 | (医師会事務局) |
| 1月17日(月) | 介護認定審査会 | |
| 1月18日(火) | 平生看護学校講義 | |
| 1月23日(日) | 柳井医師会創立50周年記念式典 | (柳井クルーズホテル) |
| 1月24日(月) | 周南地域医療連携運営委員会等 | (徳山医師会病院) |
| 1月25日(火) | 平生看護学校講義 新年互礼会 及 症例検討会 | (商工会館) |

1月の医師会活動

- I. 11(火) 定例理事会 (小蜂)
- II. 17(木) 平成17年1月度 第1回合同症例検討会・新年互礼会 (光商工会館二階)

I. 定例理事会

日時:平成17年1月11日午後7時00分～

場所:小蜂

議題:

1. 新年互礼会の件
2. 月例会の件
3. その他
4. 新春放談

昨年10月の大和町との合併で光市の医師会員が77名に増えた。若い勤務医が多く、病診・診診連携は避けて通れない。多くの問題が散在しているが、河村医師会長を中心に各理事力を出そうと、大いに盛り上がった。

II. 第1回 合同症例検討会

光医師会 ・ 光市立光総合病院 ・ 光市立大和総合病院

日時:平成17年1月25日(火)午後7時～

場所:光商工会館二階大会議室

【河村会長挨拶】

【司会進行:山本憲男】



1) アメーバー性肝膿瘍の症例



光市立大和総合病院 消化器内科 山下仰



症例

- 63歳男性
- 主訴:右季肋部痛、発熱
- 現病歴:4日前から右季肋部痛あり近医で加療をうけていたが改善せず腹痛増強するため受診した
- 既往歴:特記事項なし
- 家族歴特記事項なし

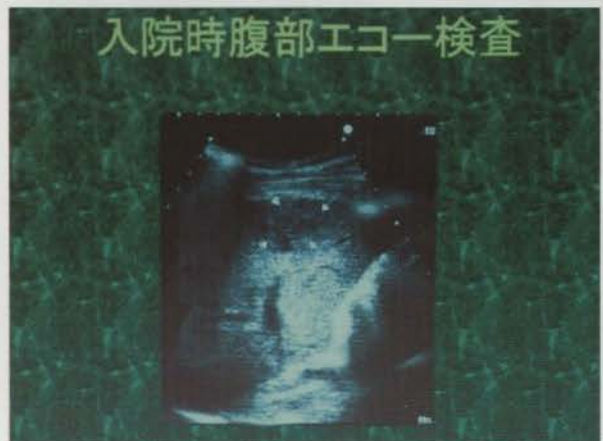
理学所見

- 身長162.2cm,体重58.2kg
- 血圧126/74mmHg,脈拍数88/分,体温38.0度
- 胸部:異常なし
- 腹部:右季肋部に著明な圧痛を認める。筋性防御なし。
- 眼球結膜黄疸なし、眼瞼結膜貧血なし

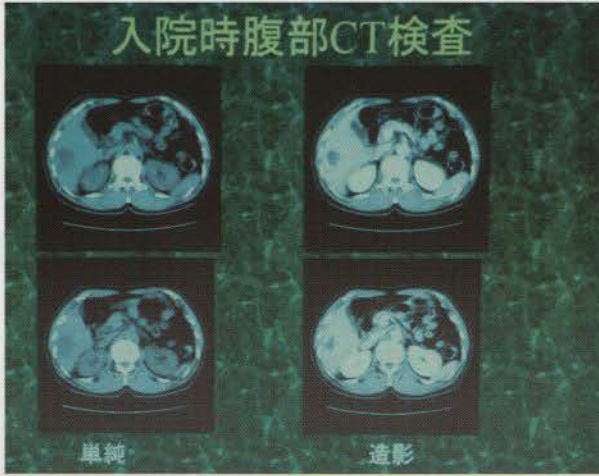
入院時血液検査

| | | |
|----------------------|-------------------------|--------------------------------|
| T.P 7.8g/dl | Na 134mEq/L | WBC 14070 /μl |
| ALB 4.0g/dl | K 4.3mEq/l | RBC 424 × 10 ⁴ /μl |
| GLB 3.8g/dl | Cl 97mEq/l | Hb 14.1g/dl |
| A/G 1.05 | Lipase 5IU/L(5-39) | Ht 40.2% |
| Glu 137mg/dl | P-Amylase 17IU/L(F5-65) | MCV 94.8fl(82-100) |
| T.Bil 1.4mg/dl | CRP 19.02mg/dl | MCH 33.3pg(26-32) |
| D.Bil 0.5mg/dl | PT 13.6sec | MCHC35.1%(32-36) |
| ChE 105IU/L(105-250) | PT% 53% | PLT 25.9 × 10 ⁴ /μl |
| ALP 471IU/L(105-340) | PT(INR)1.53 | |
| T-Chol 150mg/dl | APTT38.5sec | |
| GOT(AST) 43IU/L | APTT(C-act) 32.3sec | |
| GPT(ALT) 52IU/L | | |
| LDH 442IU/L(230-445) | | |
| γ-GTP 129 | | |
| ZTT 3.5u(0-12) | | |

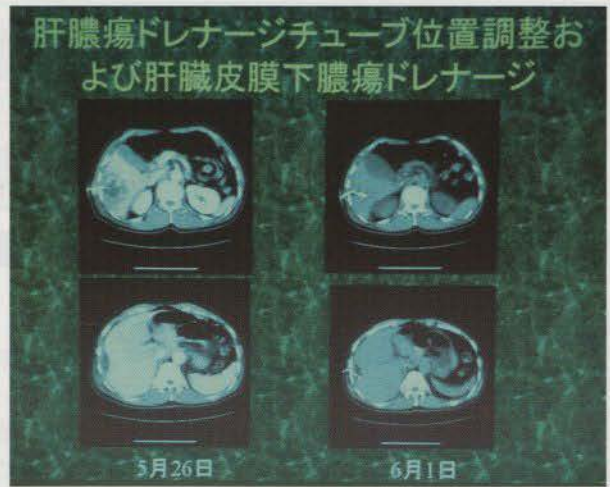
入院時腹部エコー検査



入院時腹部CT検査

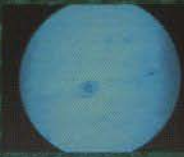


肝膿瘍ドレナージチューブ位置調整および肝臓皮膜下膿瘍ドレナージ



ドレナージチューブ穿刺液所見および追加血液検査

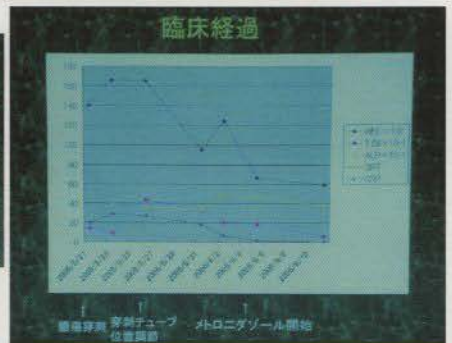
- 膿瘍穿刺液
 - 性状: 初回穿刺時血性
 - チューブ位置調整後チョコレート色
- 一般細菌培養: 陰性
- 細胞診
 - 異型細胞なし
 - 多数の好中球とともに大型の細胞が散見されるが赤血球真像なし
- 血清赤痢アメーバ抗体(FA法): 400倍



まとめ

- アメーバ肝膿瘍
 - 経口感染、小腸で分裂増殖したのち大腸粘膜に進入する。ここから終門脈的に肝臓に到達し膿瘍形成する
 - 膿瘍液の原虫検出率36%
 - 免疫学的方法: 検出率100パーセント
 - 治療: 外ロニダゾール

臨床経過



2) 兼清外科に於ける肺ガン症例



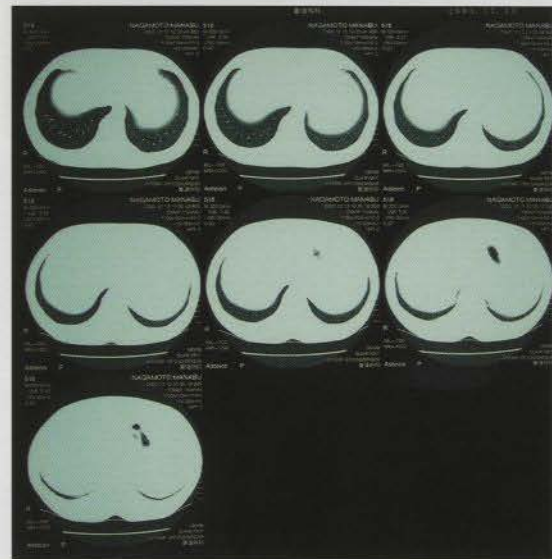
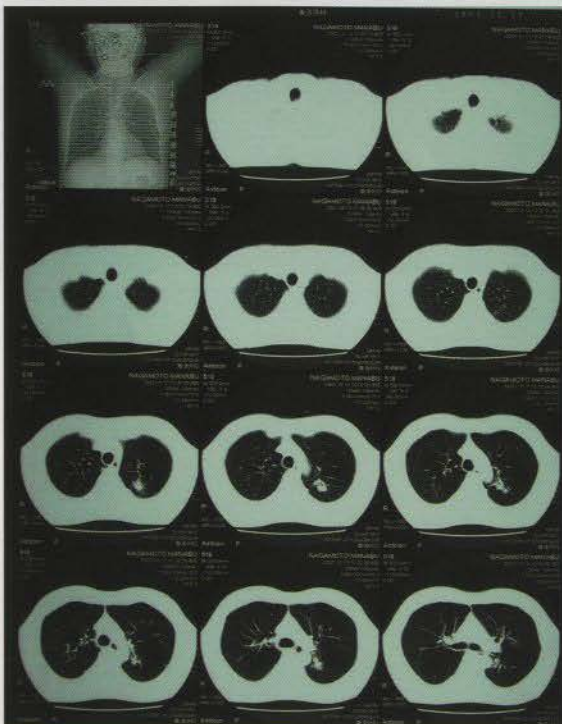
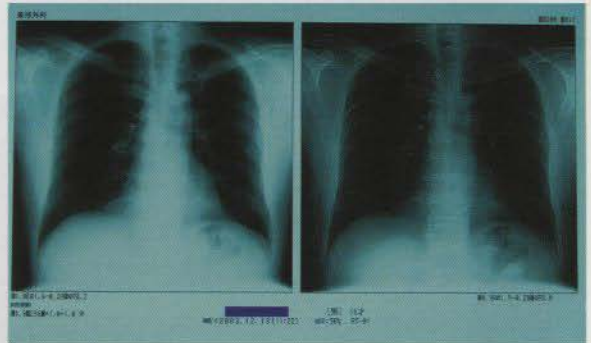
兼清外科

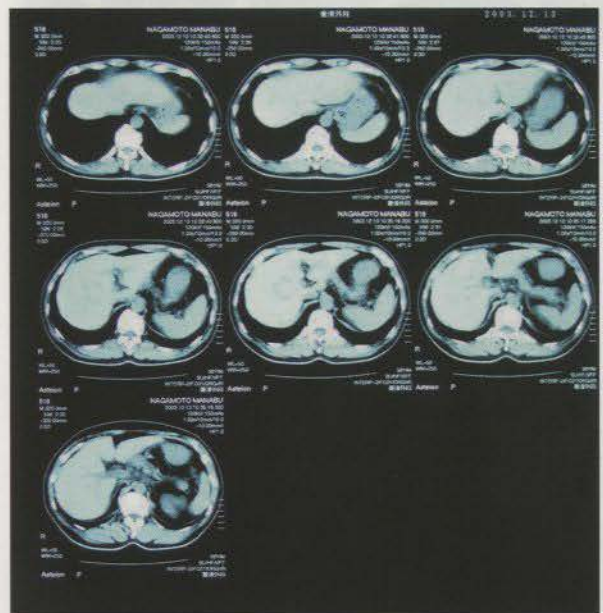
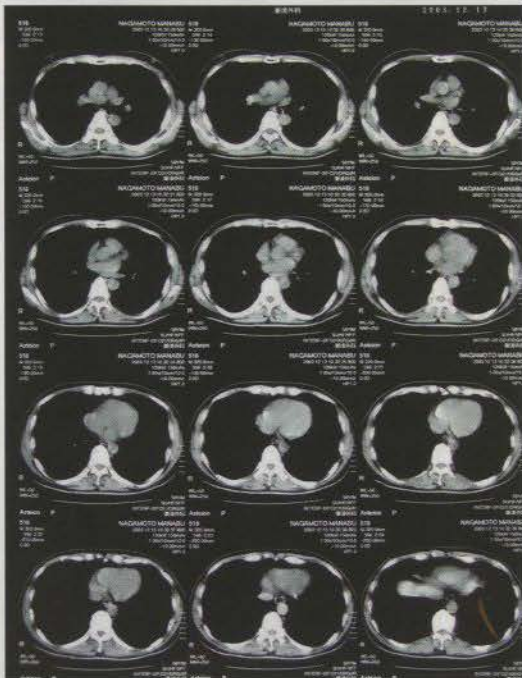
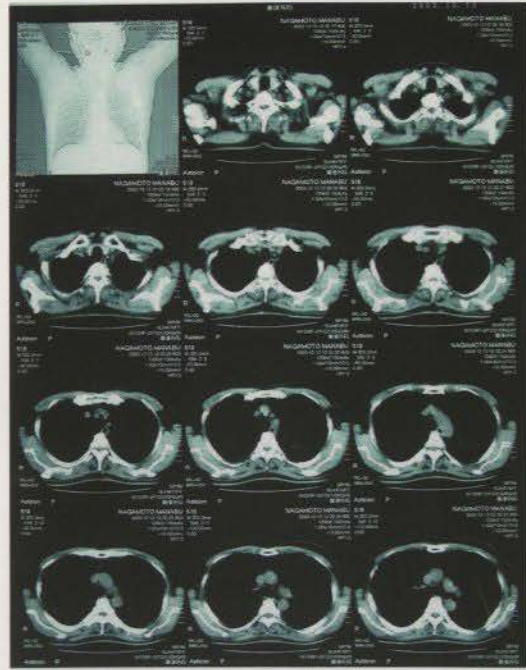
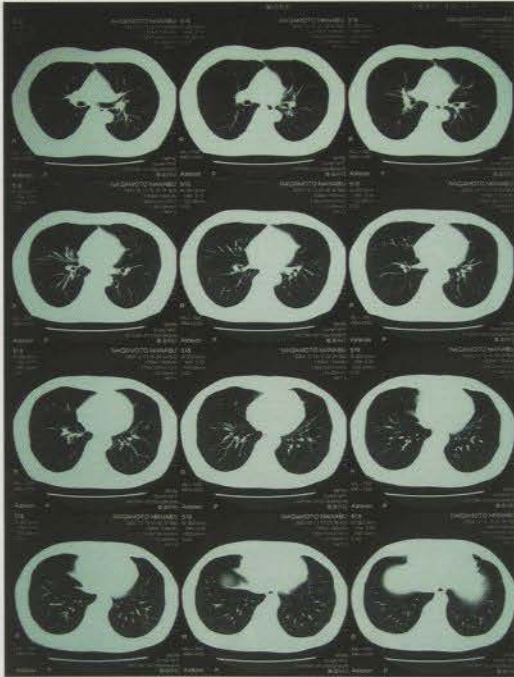
兼清照久



《ケース1》59歳 男性

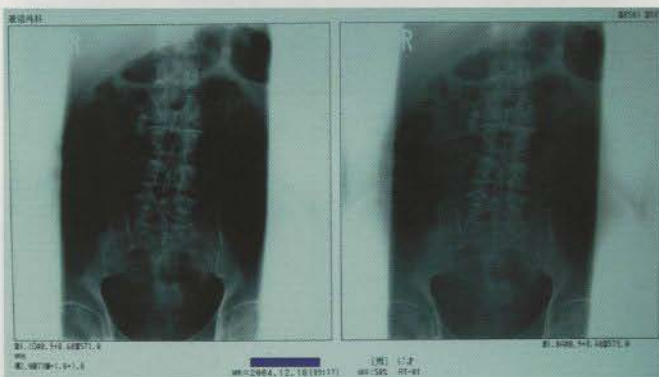
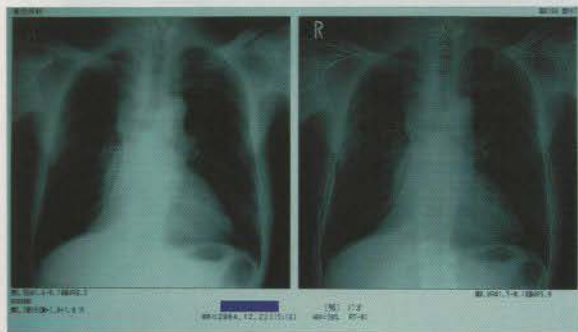
- 肺癌検診にて右肺門部の異常を指摘され受診
- Adenocarcinoma
- 広島大学でOP

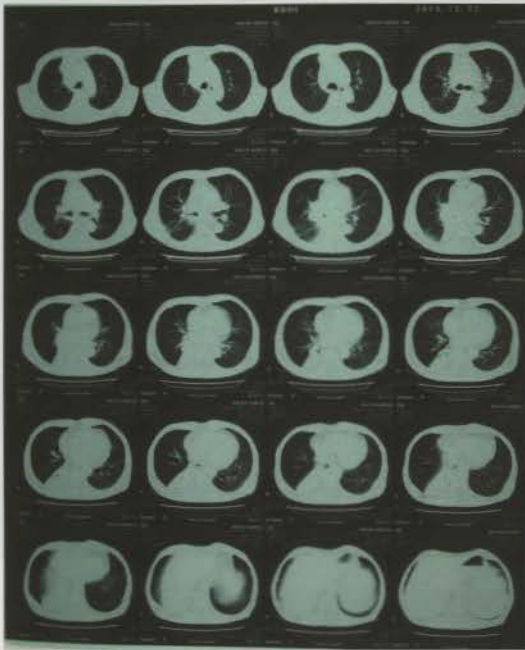
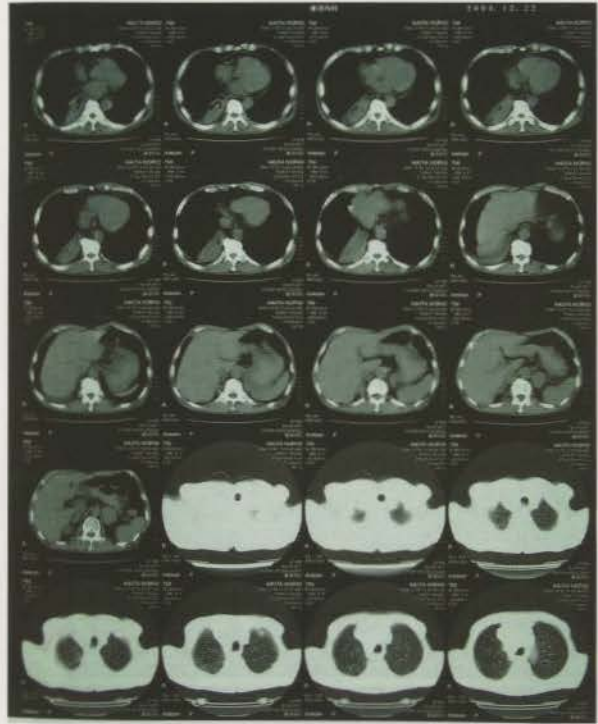




《ケース2》 67歳 男性

- 痰に血液が混ざったので受診した
- Small cell cartinoma
- 徳山中央病院にて Chemotherapy





《ケース3》 78歳 男性

- 身体がえらいので受診した
- 腹部CTにて、Tumor が見付き Meta の診断で精査した
- PET(本城クリニック)にて肺癌の肝・骨・副腎転移を診断された
- 本人は Chemotherapy を拒否した



3) 日本循環器学会が後援する心不全領域の大規模臨床試験



光市立光総合病院 循環器内科 中村 安真



日本循環器学会が後援する
心不全領域の大規模臨床試験

光市立光総合病院 循環器内科 中村 安真

1940', 1950', 1960'

心不全とは・・・
“Cardiorenal disorder” と考えられており、ジギタリス・胸水穿刺・瀉血・利尿薬という治療が主流であった。

しかし、症状はとれるものの身体活動能力は低下したままであった。

1980', 1990', 2000'

Basic cardiologyの進歩もあり、心不全が“Neurohumoral disorder”としてとらえられるようになった。

薬剤: ACE阻害薬
アンジオテンシンII受容体拮抗薬
β遮断薬

慢性心不全における
β遮断薬による治療法確立のための
大規模臨床試験
(略称: J-CHF)

概要

基礎疾患:
症状の安定した慢性心不全患者
(NYHA心機能分類がⅡ度またはⅢ度、かつEFが40%以下)

カルベジローール 2.5 mg, 5 mg, 20 mg
各群500例、合計1500例

主要評価項目: 全死亡または全心血管系の原因による入院サブスタディ

背景

超高齢化社会を迎えつつあるわが国にとって、慢性心不全患者の治療のあり方は、極めて重要な問題。

しかしながら、わが国においては、その実態すらほとんど知られていない。(数・臨床像・治療・予後)

本研究は、慢性心不全患者(その増悪により入院を要した患者)の 前向き登録と予後調査を行い、その実態をあきらかにしようとするもの。

循環器領域におけるわが国で初めての全国横断的な臨床疫学研究。

慢性心不全に対する考え方・治療法の変遷

1960', 1970', 1980'

心不全とは“Cardiocirculatory disorder” と考えられた時代であった。

血行動態の解明が進み、血管拡張薬・カテコラミンが開発された。
これにより、身体活動能力は改善がみられたが、予後に関しては満足 of いく結果が得られなかった。

最終治療目標

- ・ QOLの改善
- ・ 予後改善

背景

心不全領域では国内初の自主研究

欧米においては、大規模臨床試験によりβ遮断薬が心不全患者の生命予後を延長することが確認された。
しかし、従来から欧米と日本とは、β遮断薬の服用量の異なることが指摘され、日本人での至適用量について十分には明らかにされていない。また、β遮断薬に対し個人により反応性が異なる。

薬を効く人に効く量を投与する、いわゆる「テーラー・メードの医療」を目的

慢性心不全の増悪のため
入院治療を要する患者を対象とした
調査研究

(JCARE-CARD研究)

概要

ホームページ登録 → 数万人規模のデータベース構築

調査項目

基礎疾患、誘因、合併症、不整脈有無、手術有無、ECG所見、心エコー所見、BNP値、退院時治療(内服・非薬物療法)・・・

⇒ 臨床病態と予後との関連、治療内容と予後との関連を統計学的手法を用いて解析

4) 新年互礼会



会員
77名

リレー随筆

ゴルフと犬と私

兼清外科 兼清照久

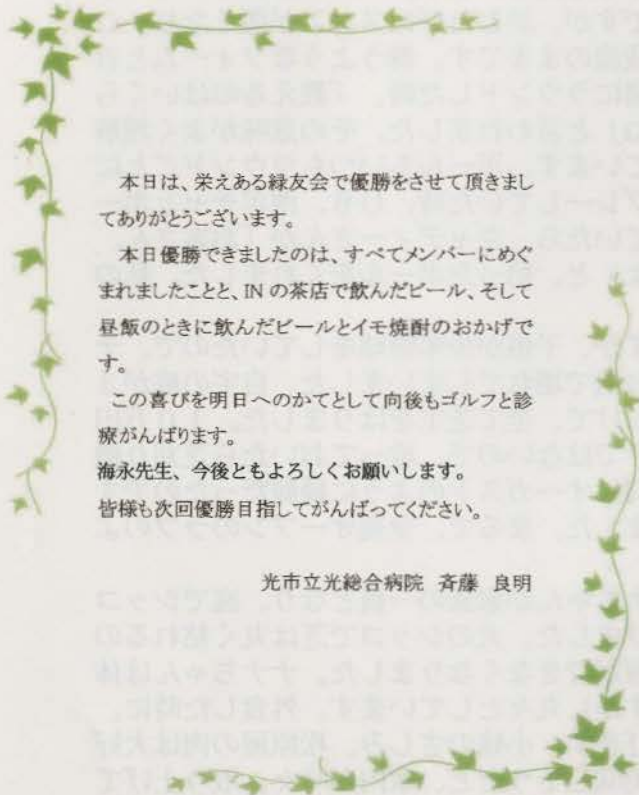
30年間ゴルフをしています、ちっとも上手になりません。努力はよくしている方だと思います。ベン・ホーガン、レッドベター、タイガー・ウッズ、金井、坂田、江連、内藤のレッスン書やビデオを見たり、ケーブルテレビのゴルフチャンネルを見ている。パーゴルフやアルバムも読んでいます。ありとあらゆるレッスン書を読んだのですが、読むたびにスコアが悪くなり、これではいけないと、また元の我流に戻すので、ずっと我流のままです。舞うようなフォームとされています。昔、周南CCのHC0の石坂さんと一緒にラウンドした時、「教えるのはいくらでも教えるけど、私に習ったと人に言わないで下さいね」と言われました。その意味がよく理解できません。ゴルフクラブもニューモデルに毎年替えています。ボールもいつもラウンドごとにニューボールを使っています。ある時、中須ゴルフでプレーしていた時、OB、池ポチャとボールが次々となくなり、そのたびにニューボールを出していたら、キャディーさんが「お客さん、もったいないからロストボールを使った方がいいですよ」と、拾ったボールをくれました。私の腕は、このボール程度なのでしょう。

開業した時に、小さなゲージの練習場を作ったのですが、子供が少年野球をしていたので、ティーバッティングにちょうどよくて、使っているうちに台風で壊れてしまいました。自宅の庭が300坪あるので、ゴルフの練習場にしようと、植木をのけて、全て芝生をはりました。10万円で自走芝刈り機も購入しましたが、もともと労働が好きではないので、放っておいたら芝刈り機がすぐにさびて動かなくなり、壊れました。芝生も最初はオーガストのように綺麗だったのですが、すぐに雑草が生え、そのうち長い草だらけになりました。まるで、全英オープンラフのようになりました。

4年前から儀本歯科で生まれた、ラブラドルのナナちゃんが家族の一員となり、庭でシッコやウンコをするため、ますます芝はムチャクチャになりました。犬のシッコで芝は丸く枯れるのでした。フンもいっぱい落ちており、アプローチの練習ができなくなりました。ナナちゃんは体重が36kgもあり、他の家族同様（今は夫婦だけですが）丸々としています。外食した時に、こっそり残った物をお土産に持って帰ると、とても喜びます。小蜂のさしみ、松原屋の肉は大好きです。ナナちゃんの為に持って帰った料理ですが、美味しそうだと、家内が時々、取り上げて食べています。サンリブのまぼろしの豆腐、ハーベストの焼きたてパンなども好きです。とうもろこしも手に持って上手に食べますが、良く噛まないで、便につぶのまま出ます。真っ黒い犬がお尻をプリプリ振って、モンローウォークをして、とってもかわいいので、孫のようにかわいがっていたら、すっかり女王様になりました。散歩も自由に勝手な方向へ引っ張り、猫を見ると肩が抜けそうにダッシュします。家に帰ると飛びついて、服は泥だらけになります。おかげで客は誰も来ません。自宅の玄関を寝床にしており、庭付きで冷暖房完備、執事付です。庭でゴルフの素振りをするとうると、足元にサッカーボールをくわえて来て、さあ蹴れと催促します。ボールを蹴らないとワンワン吠えてうるさいので、素振りもできません。「あんたのおかげで、ゴルフのにぎりに負けるようになった」とぼやきながら、今日もメロンパンを3つ買う私でした。



緑友会報告



本日は、栄えある緑友会で優勝をさせて頂きましてありがとうございます。

本日優勝できましたのは、すべてメンバーにめぐまれましたこと、IN の茶店で飲んだビール、そして昼飯のときに飲んだビールとイモ焼酎のおかげです。

この喜びを明日へのかてとして向後もゴルフと診療がんばります。

海永先生、今後ともよろしくお願ひします。

皆様も次回優勝目指してがんばってください。

光市立光総合病院 齊藤 良明

光 緑 友 会

平成16年12月26日

| 名前 | OUT | IN | Gross | HC | Net | 順位 |
|-------|-----|----|-------|----|-----|-----|
| 兼清 | 51 | 41 | 92 | 8 | 84 | 11位 |
| 森本 | 45 | 42 | 87 | 5 | 82 | 7位 |
| 海永 | 49 | 45 | 94 | 8 | 86 | 12位 |
| 南 | 59 | 55 | 114 | 23 | 91 | BB |
| 守友 | 53 | 50 | 103 | 14 | 89 | 16位 |
| 守田 | 57 | 45 | 102 | 15 | 87 | 13位 |
| 田中 | 58 | 52 | 110 | OS | - | |
| 久保田 | 51 | 59 | 110 | OS | - | |
| 光武 | 50 | 45 | 95 | 12 | 83 | 8位 |
| 竹中(智) | 57 | 53 | 110 | 27 | 83 | 9位 |
| 赤崎 | 49 | 46 | 95 | 14 | 81 | 5位 |
| 齊藤 | 50 | 49 | 99 | 26 | 73 | 優勝 |
| 松村 | 52 | 64 | 116 | 28 | 88 | 15位 |
| 横山 | 42 | 43 | 85 | 10 | 75 | 3位 |
| 平田 | 46 | 40 | 86 | 12 | 74 | 2位 |
| 冬野 | 55 | 46 | 101 | 17 | 84 | 10位 |
| 前田 | 49 | 47 | 96 | 14 | 82 | 6位 |
| 竹中(博) | 66 | 62 | 128 | 36 | 92 | BM |
| 河崎 | 55 | 53 | 108 | 20 | 88 | 14位 |
| 白石 | 52 | 43 | 95 | 17 | 78 | 4位 |

次回より 齊藤Hc 26→20

DC ②田中(OS) ⑥冬野 ⑬白石 ⑰赤崎
 NP ④平田 ⑧ - ⑩白石 ⑮海永
 BG 横山

ホームページだより

今、世の中は情報で管理されていると言っても過言ではありません。では、情報とは何か、あらゆるものの事象を表現したもの、それには文字や絵、電波や音、踊りや顔の表情まで、多岐に亘ります。では、管理される情報とは何なのでしょう。それはテレビや新聞、教育や多くの書物やネットなど、与えられる情報でしょうね。管理されない情報は、テレビや新聞ではあり得ませんね。一部の書物、ネット環境、要するに自分から求めた情報でしょう。スターリンの統制下で、管理できなかった情報は頭の中と一部の音楽だけでした。最近ではネット環境でも「電気通信事業における個人情報保護に関するガイドライン」を根拠に(財)インターネット協会なるものを立ち上げて、規制強化に乗り出しています。今年四月より施行される個人情報保護法案はまさに情報管理強化の象徴でしょう。また、国民保護法案なるものまで制定され、まるで戦時体制のような情報統制が始まりました。このような中で統制されない情報を求める人とそれを意識しない人とで、両極端に情報乖離現象が起ころうとしています。ある会議で、単に与えられる情報を理解しようと努力する人と、その情報がどのような意図を持つものであるかを読み取ろうとする人とは、雲泥の差が生じます。溢れる情報の中でそれを読み取る力はどんどん失われていくように感じています。

山口県光市 佃医院
 佃 邦夫



連絡事項

| 受付 | | 発送番号 | 通達文書名 |
|----|---|-----------|---|
| 月 | 日 | | |
| 1 | 6 | 山医発610 | 「児童福祉法の一部を改正する法律」の施行について |
| | | 山口県医師会 | 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正について |
| | | 山口県医師会 | 材料価格の基準の一部改正等について |
| | | 事務連絡 | 「痴呆」に替わる用語に関する検討会報告書の送付について |
| | | 山口県医師会 | 平成17年度税制改正について |
| 1 | 1 | 山医発615 | 第91回山口県医師会生涯研修セミナーの開催について |
| | | 山医発620 | 医師国試問題公募について（協力をお願い） |
| | | 山医発621 | インフルエンザHAワクチンの安定供給の確保について |
| | | 山医発626 | 平成16年度小児生活習慣病予防対策への助成について |
| | | 山医発625 | 平成16年度郡市医師会主催学校医等研修会への助成について |
| | | 事務連絡 | 第91回山口県医師会生涯研修セミナーレジメの配布について |
| | | 周教医1 | 周南地域救急医療対策協議会の開催について（通知） |
| 1 | 3 | 医務14-10 | 山口県救急医療情報システムの運用状況について |
| | | 山医発633 | 山口県医師会産業医研修会・自賠責保険研修会の開催について |
| | | 山医発631 | 医療機関を狙った「降込詐欺」の被害防止について |
| | | 山医発635 | スマトラ沖地震、インド洋津波災害救援義援金について |
| | | 事務連絡 | 平成16年度「がん疼痛緩和と医療用麻薬の適正使用推進のための講習会」の開催について |
| 1 | 7 | 山医保発86 | 国民健康保険料証明書の送付について |
| | | 山口県医師会 | 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正について 検査料の点数の取り扱いについて |
| | | 山医発636 | 酸素の購入単価の算定に関する届出について |
| | | 山医発637 | 平成17年度応援医師等傷害保険の実施について |
| | | 山医発645 | 医療機関における感染性胃腸炎等の院内感染発生防止対策の徹底について |
| | | 産業医研修会事務局 | 産業医研修会について |
| 1 | 8 | 山口県医師会 | 市町村合併に伴う組合員証等の交換事務について |
| 2 | 0 | 山医発649 | 流行性嘔吐下痢症の予防及び発生時の対応について |
| 2 | 1 | 日医発1045 | 「公益法人の活動と政治団体の活動の峻別について（調査結果の報告）」（事務連絡）の送付について |
| 2 | 4 | 事務連絡 | 通常組合会開催について |
| | | 山医発633-1 | 研修会のご案内 |
| | | 山医発654 | 「精神科医等のための産業保健研修」の開催について |
| 2 | 5 | 医務10117 | 平成16年度版「山口県における看護の現状」について（送付） |
| | | 山医発655 | 郡市医師会長会議の開催について |
| | | 山医連発14 | 医師連盟執行委員会の開催について |
| | | 山医互発69 | 平成16年度第2回支部長会議の開催について |
| | | 事務連絡 | 山口県医師会報ファイルの廃止について |
| 2 | 7 | 山医発665 | 「在宅医療の推進のための実地研修会」「主治医意見書記載のための主治医研修会」の開催について |
| | | 山医発661 | 個人情報保護法の全面施行に向けての医師会の対応について |
| | | 山口県医師会 | 使用薬剤の薬価（薬価基準）の一部改正等について |
| 2 | 9 | 山医発671 | 平成16年度第4期分生命保険団体事務費の配分及び団体事務費に関する消費税の送金について |
| | | 山医発664 | 動物由来感染症バンドブック〜ペットからの感染症を防ぐために〜の送付について |
| | | 事務連絡 | 子ども予防接種週間のポスターの送付について |
| | | 山医発669 | 職場における肝炎ウイルス感染に関する留意事項について |
| | | 山口県医師会 | 市町村合併に伴う組合員証等の綱管事務について |
| | | 山口県医師会 | 市町村合併に伴う老人保健法における市町村番号及び国民保険の保険証番号の改定について |
| | | 山医発659 | 第40回山口大学医師会・山口大学医学部主催医師教育講座「腹部エコー検査の実際」の受講者について |
| | | 山医発668 | 日本医師会への入会・異動報告書様式の変更と送付について |
| 3 | 1 | 日医発1048 | 冊子「厚生労働省 医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いについてのガイドライン」送付のご案内 |



1月休日当番医報告

| | 内科系 | 外科系 |
|---------|-----|-----|
| 1/ 1(土) | 42 | 6 |
| 2(日) | 54 | 6 |
| 3(月) | 44 | 17 |
| 9(日) | 34 | 9 |
| 10(月) | 44 | 5 |
| 16(日) | 14 | 3 |
| 23(日) | 17 | 3 |
| 30(日) | 28 | 6 |
| 計 | 277 | 55 |

あ と が き

早いものでもう2月になりました。寒波も来ました。そろそろインフルエンザが流行る頃でしょうか。ノロウィルスに変異型のヤコブ病。毎年毎年、病原体が強くなったのか、人間が弱くなったのか・・・軽々しく冗談も言えない、世界情勢の中にあって、今日もまた、レセプトの返戻に憤っています。先日、匿名で一会員の方から「会報がおもしろくなってきている」とのお言葉を頂きました。ありがとうございます。学術講演会・症例検討会などじっくり載せたいのですが、なにしろ専門外ばかりで、只写真を載せるだけに終わっています。申し訳ありません。少しずつでも進歩していけるよう努力致します。皆様、お身体に気をつけて・・・

発行所 光医師会
 TEL(0833) 72-2234
 発行日 平成17年 2月10日
 発行者 河村康明
 編集者 広報担当
 印刷所 光市光井一丁目15番20号
 中村印刷株式会社